

池田山カップローカルルール

メインランディングのアプローチ

ランディングアプローチでの高度処理は、駐車场上空およびその西側では行ってはならない。

補足1:ランディングの「溝」などの障害物について

一面緑で平に見えるランディングですが、水はけ用の「溝」や隣の田んぼとの「のり面」、土地境界線の「コンクリートの仕切り」など、様々な障害物があります。また、雨が降ると水溜りになりやすい箇所があり、滑りやすくなっていますのでご注意ください。

補足2:北風進入のランディングアプローチは、青少年研修施設、民家の上で、行わないでください。

電線などの障害物があるため、北風進入のときのファイナルレグのコースをランディング場で確認してください。

1. 大会失格

以下に該当する選手は大会失格とする。

- 1)故意に不正な競技報告を行った者、および事故・アウトサイドの報告を行わない者
- 2)大会規定に照らし重大な違反をしたと認められる者
- 3)大会役員から3回警告を受けた者
- 4)高圧送電線をくぐったもの、接触したもの
- 5)その他大会役員の判断による。

2. 警告・フライト失格・ペナルティ

以下の該当する選手には警告・ペナルティを与え、役員の判断によりフライト失格とする事がある。

- 1)大会役員の指示に従わない者
- 2)規定時間内に競技終了報告をしない者
- 3)禁止区域でのフライト及びランディング、雲中飛行・空中接触等危険と判断されるフライトをした者
- 4)故意によるスタ沈・山沈・アウトサイドランディング等で他に危険を及ぼした者
- 5)指定地以外へランディングした者は、当日のフライト得点を100%カットする。

指定地とは、指定ランディング(サブランディングを含む)、ゴール、河川敷とする。

指定サブランディング以外の河川敷は指定地と認められず、得点カット対象となる。

メインランディング、ゴールのランディングの判定は役員が周囲の状況も参考にして行う。

最初に体、または機体が地面に触れたところから、

止まったところまでが、指定地内であること。

河川敷の土手は指定地内とする。(右図参照)

河川敷は、揖斐川、根尾川、長良川の河川敷に限定する。

河川敷に降りたかどうかの判定は、自己申告または、

トラックログをgoogle-earth、またはsee-youで判定する。

6)飛行禁止エリアは以下の通りである。

①ラジコン飛行領域は、NG2,NG3,NG4,NG5で囲んだ四角形、全高度を対象範囲とする。

②池田温泉は、NG6から半径300m500m以内、海拔高度500m以下(高度無制限)を対象範囲とする。

③グライダー飛行場周辺(グライダーのランディングアプローチゾーン)は、NGA,NGB,NGC,NGD,NGE,NGFで囲んだ多角形、海拔高度500m以下を対象範囲とする。

④グライダー飛行場は、NG7,NG8,NG9,NGAで囲んだ四角形、全高度を対象範囲とする。

①、②について全日程飛行禁止とする。

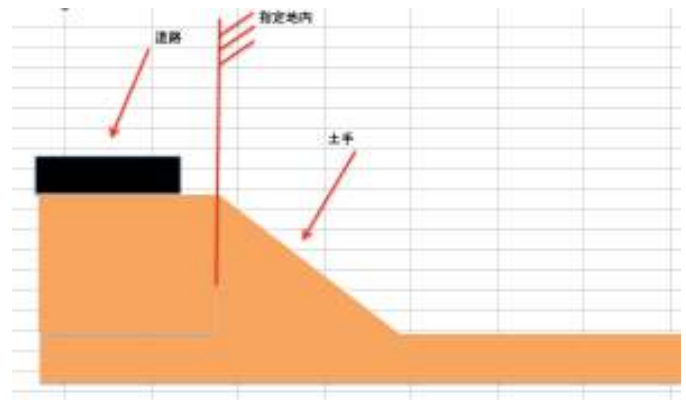
③、④については、競技当日のテイクオフでのブリーフィングにて、飛行禁止とするか選手に連絡する。

対象範囲を飛行した者は、当日のフライト得点を30%カットし、警告1とする。

対象範囲に着陸した者は、当日のフライト失格、警告2とする。

7)警告が累積2となったときのフライトは、失格とする。

8)その他大会役員の判断による。



なお指定地以外へのランディングが認められないことを踏まえ、タスクの最短ルートが指定地(ランディング・サブランディング・ゴール)から半径4kmの範囲内に収まるようにタスク設定する。また根尾川河川敷にサブランディングが確保できない場合は、根尾川に沿ったタスクコース設定は行わない。

3. 抗議

抗議の申し立ては、成績発表後 1 時間以内(最終日は 30 分以内)に供託金 2 万円を添え文書にて競技委員長に提出すること。抗議が受け入れられた場合、供託金は返却される。

4. 事故及び損害賠償

フライトに関する責任は全て参加選手が負うものとする。

大会期間中、万一事故や障害、損害が発生した場合本人の責任において速やかに処理し、本部に連絡すること。

また、主催者及び大会関係者に対し責任の追求、損害賠償の要求をおこなわないこと。

5. 大会役員の権限

大会中は大会役員の指示に従わなければならない。役員の指示に従わず競技に支障をきたす行為をした選手は、大会役員の判断により、その日のフライトもしくは大会を失格とする場合もある。

6. 選手の義務

フライト終了後、大会本部へ電話連絡する際に、指定地以外にランディングした場合は、必ず報告すること。

また帰着後にエリア利用規定に従って報告書を作成し提出すること。

また、地主様への挨拶・謝罪を実施すること。(大会運営側からもサポートする)